

策定の経緯と趣旨

- 東京圏への人口の過度な集中を是正し、地域の住みよい環境を整備するとともに、少子高齢化による人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある社会を維持していくことを目的として、国と地方が一体となって取り組んでいるもので、本町においては、第1期(2015年度～2019年度)、第2期(2020年度～2024年度)の「聖籠町人口ビジョン / 聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生に関する各種施策を推進してきました。
- 国においては、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を令和4年12月に策定(令和5年12月改訂)しました。これを受け、地方公共団体は国の総合戦略を勘案した内容への改訂等の対応を求められています。
- 以上を踏まえ、「聖籠町人口ビジョン」の見直しを行うとともに、将来の様々な変化を見据えた「第3期聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。

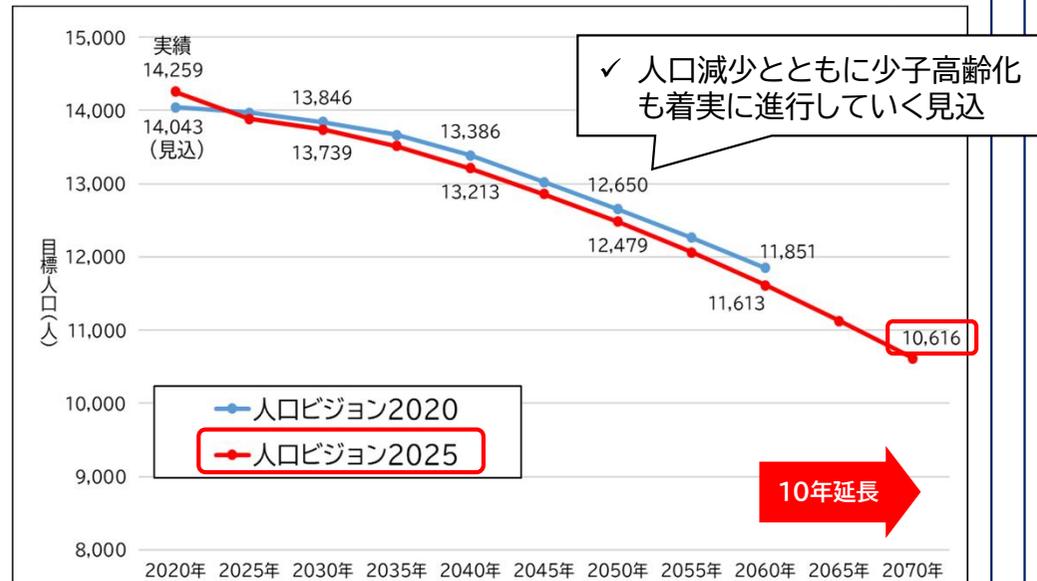
人口ビジョン

※対象期間:2025年から2070年

- 人口の現状分析を踏まえ、人口ビジョン2020と同様に国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠した人口推計パターンを採用し、人口ビジョンの見直しを行いました。

< 聖籠町人口ビジョン2025 >
2070年目標人口 10,610人

人口減少抑制
地域活性化



総合戦略

※対象期間:2025年度から2030年度

- 人口ビジョンの達成に向けて、新たに「地域ビジョン」を定めるとともに、第2期から継続して3つの基本目標を設定しました。
- 効果的に施策を推進するため、「地域幸福度(Well-Being) 指標の活用」、「デジタル技術の活用」に取り組みます。

< 地域ビジョン >

町民一人ひとりの暮らしの充実感を創出し、幸福度(満足度)を高めることで、「生まれて良かった住んで良かった聖籠町」の実現を目指す

基本
目標1

しごとづくり
～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～

基本
目標2

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本
目標3

まちづくり
～住み続けたいまちをかたちづくる～

3つの基本目標における「数値目標」と「施策」

基本目標ごとに数値目標を定め、施策に基づき着実に実施します。数値目標等を基に毎年度効果検証を実施します。

基本目標1:しごとづくり ～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～

町の基幹産業である農業をはじめとした地域産業の振興、地域資源を活かした多様な主体との連携による地域活性化、新潟東港工業地帯における立地企業の設備投資や未操業地への進出促進、地域の支援機関と連携した創業促進等に取り組むことにより、地域経済の活性化を促し、雇用の創出を図ります。

数値目標	基準値	→	目標値(2030)	施策
固定資産税収	【2023決算】 32億2千万円		【2030決算】 29億9千万円	

基本目標2:結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚・出産・子育ての希望をかなえるために各ステップに応じて切れ目のない支援を実施し、安心して子どもを産み育てられる環境の整備を推進します。

数値目標	基準値	→	目標値(2030)	施策
子育てに対する満足度	【2024アンケート】 61.0%		【2030アンケート】 65%	

基本目標3:まちづくり ～住み続けたいまちをかたちづくる～

誰もが活躍できるまちづくりの推進、地域防災体制の強化等の取組を町民との協働により推進するとともに、地域交通の維持・確保、デジタル行政サービスの導入等による暮らしの利便性の確保・向上を図り、いつまでも住み続けたいまちづくりの実現を目指します。

数値目標	基準値	→	目標値(2030)	施策
住みやすいまちだと思える人の割合	【2024アンケート】 74.5%		【2030アンケート】 75%	
町(集落)に愛着を持っている人の割合	【2024アンケート】 54.0%		【2030アンケート】 60%	